

# 令和3年7月 経営協議会（対面・オンライン併用）議事録

I. 日 時 令和3年7月15日（木） 14時00分～16時06分

II 場 所 千葉大学事務局棟5階 第1会議室

III. 出席者 中山学長、河田、黒木、島田、西堀、萩原、正宗、宮坂  
中谷、渡邊、藤江、金原、手島、堀、岩崎、小澤、佐藤（之）、  
松原、横手、諏訪各委員

がざー 角倉、山本各監事  
（欠席者：有馬、犬養、岩田、加賀見、香藤、銭谷、舩橋、各委員）

IV. 前回議事録について  
原案のとおり承認された。

V. 審議事項（◎学外委員、○学内委員）

1. 第4期中期目標期間における中期目標（素案）・中期計画（素案）について  
中谷理事から、第4期中期目標期間における中期目標（素案）・中期計画（素案）  
について、資料に基づき説明があり、審議の結果、承認された。

2. 学内組織の改組に伴う規則の改正（案）等について  
中谷理事から、学内組織の改組に伴う規則の改正（案）等について、資料に基づ  
き説明があり、審議の結果、承認された。  
主な意見は以下のとおり。

◎ 新しい組織を作ることは大変いいことだと思うが、経営戦略に関することは現在の  
組織ではどういう形で議論されているのか。

○ 今までは経営戦略会議という比較的大きなところで行なってきた。今回これをかな  
り絞ってやるというのは、経営そのものに、もう少しIR機能も充実させ、千葉大学の  
置かれている経営的な指標とか、そういったものも準備しながら、他大学と比較して  
どこが弱いのか、どういうところが足りないのかということをより詳細に分析して、  
この経営戦略基幹ということ以最終的に決めていく。

3. 柏の葉キャンパスの利用について

中谷理事から、今後、開設が予定されているラグビースクールジャパンに対する  
柏の葉キャンパスの利用について、資料に基づき概要説明がなされ、引き続き、契約  
の詳細について手島理事から、連携活動案について渡邊理事から説明があり、審議の  
結果、承認された。  
主な意見は以下のとおり。

◎ ラグビー校の進出する予定地のところに柏の葉の診療所がある。漢方薬による医療  
ということで大変ユニークな研究施設でもあるが、これは移転するのか。

- ここには今周辺の柏の葉街にお住まいの高齢者の方が来られてるようなので、そういう方々の利便性を考えながら位置を考えていくので、この北側の方のキャンパスの一部を使ってそこに移動していただくという形を考えている。
- ◎ 薬草園もあると思うが。
- それも移動させて、診療所の近くに持っていこうと思っている。
- ◎ 柏の葉の診療所は大変ユニークで、しかも近代医学と別の形で伝統的な日本の医療というものも引き継いでやっているものだから、何かこういうことが一つの契機として、こういう診療所の機能なり研究なりが拡大できるようなことをあわせて考えていただけたらいいかと思う。
- 附属病院も和漢治療学ということで診療をやっていて、最近ではコロナ後遺症なんかは結構漢方療法というのが効くということで、そういう患者さんも増えている。
- ◎ そもそもラグビー校はどのようなことを企画して、どのような教育を自分の方でしようと思っているのか、どのようなねらいで日本に来たのか。
- ラグビースクールは今から6年前にタイにインターナショナルスクールの1つ目を作っており、グローバル化を図るということで日本に来ている。  
日本に来てやることというのは基本的には母校と同じ。イギリスでやってることと同じことを基本的にはやるという思想で作っているので、学年の取り方や何かもすべて母校イギリスと同じような取り方をしている。
- ◎ 教育全般を扱うということか。
- いわゆる日本でいう小学校六年生のところから学年が始まって、7年間のいわゆる中高一貫校ということになる。
- ◎ 中学は義務教育であり、高校もやはり教育の内容等、学校教育法でいろいろ決められてると思うが、そういう日本の法律との整合性というのは保った形でやるのか。それともその枠外でやるんでしょうか。
- 日本の法律の枠内であり、学校教育法に定めるいわゆる各種学校として設置するというふうに聞いている。
- ◎ 規模的にはどのぐらいの学生数が想定されるのか。
- 定員は一応1学年100人というように決まっていて、再来年度の設置の時には学生として受入れが確か160人ぐらいだと思うが、もちろん1年生として受け入れるのと、それ以外にもいわゆる日本の高校と同じところで、イヤー4で受け入れる、それからイヤー2で受け入れるという学年進行で学校を作っていくのではなくて、最初始まった年にいろんな学年に分散して入れていって、埋めていくというやり方をする。最終的には6年目には必ず全部埋まっているという状況で、ただ、そこまでいかなくても60パーセント、80パーセント近い定員の数を確保していく。

## VI. 協議事項

### 1. 千葉大学ビジョンについて

中山学長から、千葉大学ビジョンについて協議したい旨発言があり、意見交換が行われた。

## VII. 報告事項（○学外委員、○学内委員）

### 1. 新型コロナウイルスへの対応について

中谷理事から、本学における新型コロナウイルス感染者等の状況及びワクチンの大学拠点接種について報告があった。続いて、小澤副学長から、現在の授業の実施状況及び留学プログラム等について報告があった。続いて、横手副学長から、附属病院における感染者の入院状況、ワクチンセンターの研究成果及び運営状況等について、資料に基づき報告があった。

主な意見は以下のとおり。

◎ 理由はいろいろあって何パーセントかの人はワクチンを打たないという方がもちろんおられる。対面授業が今後どういう形であれ、多数派であるワクチン接種の学生たちから、一緒に授業をするのは嫌だというようなことが起こりかねないということに心配している。そういうトラブルを想定して何か対応しているのか。

○ 現在においても、やはり対面授業を受けるのを消極的になる学生というのがある程度いる。基本的には、例えば総安機構と相談しながら公欠の扱いにするのかしないのかというようなことをその都度判断しながら進めていくという、そういうやり方を取りあえず取るしかないと思っている。

それから、基本的にはワクチンの接種が進んだとしても、それは感染しないということではなくて、今行っているようなさまざまな感染防止措置に基づくような授業形態について粛々と進めていく。

◎ 対面授業再開の時、大学の方からワクチンを接種してない学生にワクチンを接種するように働きかけるといったことはないのか。

○ アンケート結果で、全体 93 パーセントが接種を希望しており、千葉大学はかなり高い割合で接種希望者が多いと思うが、あくまで最終的には自分の意思で打っていただく、そういう形になるんじゃないかと思えます。

### 2. 令和4年度概算要求について

手島理事から、令和4年度概算要求について、資料に基づき報告があった。

### 3. 第3期中期目標期間（4年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果について

中谷理事から、第3期中期目標期間（4年目終了時）に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

### 4. 学長選考会議の審議状況について

宮坂学長選考会議議長から、学長選考会議における学長の業績評価の結果について報告があった。

5. 令和2年度卒業生・修了生の進路状況について

渡邊理事から、令和2年度卒業生・修了生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

6. その他

①CHIBADAI研究ブランド力強化通信について

中山学長から、CHIBADAI研究ブランド力強化通信について、資料に基づき報告があった。

②千葉大学研究力強化方針に関する記者説明会（会見案内）について

中山学長から、千葉大学研究力強化方針に関する記者説明会について、資料に基づき報告があった。

以上